

# 寄附講座

## 血管不全学講座

### 論文

- 1 Akashi M, Takumi T.: The orphan nuclear receptor RORalpha regulates circadian transcription of the mammalian core-clock Bmal1. Nat Struct Mol Biol. 2005, 12(5): 441-448.

### 著書

- 1 加藤 徹, 野出孝一: 感染症の関与はどこまで明らかになったか. 急性冠症候群の臨床 24-29 中山書店 2005.
- 2 加藤 徹: 気管支喘息, 発熱, 体重減少, 神経症状, 心嚢水貯留で入院した56歳の女性. Lessons of the Month 「臨床医」. 2005; 31: 274-275. 中外医学社
- 3 加藤 徹: 臨床におけるプレコンディショニング—PTCA をモデルにした薬剤効果判定—. 日本臨床麻酔学会雑誌, 2005
- 4 加藤 徹: 「国際学会印象記 (ESC)」 Cardiovascular Med-Surg 2005; 17: 0000 メジカルレビュー社
- 5 加藤 徹: 第17回 NICORANDIL 研究会 2004. 10. 16 東京 臨床の部 討論 Therapeutic Research 2005; 26: ライスサイエンス出版株式会社

### 学会発表

- 1 Kato T, Inoue T, Node K. High LDL3 subfraction as a powerful predictor of silent lacuna infarction in patients with essential hypertension. AHA/ASA 30th International Stroke Conference, New Orleans, Louisiana, February 1-4, 2005
- 2 \*稲垣 裕, 加藤 徹, 倉林 学, 桜井 馨, 野出孝一, 磯部光章: 慢性期ステント再狭窄の予防には高レムナント様リポ蛋白質血症とインスリン抵抗性の改善が必要である. 第69回日本循環器学会学術集会 2005. 3 横浜
- 3 \*稲垣 裕, 加藤 徹, 倉林 学, 桜井 馨, 野出孝一, 磯部光章: 慢性期ステント再狭窄の予防には高レムナント様リポ蛋白質血症とインスリン抵抗性の改善が必要である. 日本内科学会学術集会 2005. 4 大阪
- 4 加藤 徹, 井上晃男, 内田 文, 藤松大輔, 琴岡憲彦, 諸岡俊文, 吉田和代, 橋本重正, 挽地 裕, 野出孝一: LDL3は本態性高血圧患者における無症候性ラクナ梗塞のスクリーニングに有効である. 第53回日本心臓病学会学術集会. 2005. 9. 19.
- 5 吉田和代, 小松愛子, 平川奈緒美, 内田 文, 藤松大輔, 琴岡憲彦, 諸岡俊文, 橋本重正, 挽地 裕, 加藤 徹, 井上晃男, 野出孝一: 薬剤抵抗性血管攣縮性狭心症における心拍変動と胸部交感神経切除術 (ETS) の有用性. 第53回日本心臓病学会学術集会. 2005. 9. 20.
- 6 井上晃男, 加藤 徹, 野出孝一: 冠動脈硬化病変の予後規定因子とそのメカニズム 新たな治療ターゲットを求めて 血管不全を標的とした動脈硬化治療 プラークの安定化, 再狭窄予防から危険因子への介入まで. 第53回日本心臓病学会学術集会. 2005. 9. 20.
- 7 吉田和代, 小松愛子, 平川奈緒美, 内田 文, 藤松大輔, 琴岡憲彦, 諸岡俊文, 橋本重正, 挽地 裕, 加藤 徹, 井上晃男, 野出孝一: 薬剤抵抗性血管攣縮性狭心症に対し内視鏡下胸部交感神経節

切除術が有効であった1例。第53回日本心臓病学会学術集会。2005。9。21。

- 8 Inoue T, Kato T, Hikichi Y, Hashimoto S, Hirase T, Morooka T, Imoto Y, Takeda Y, Node K.: Poster presentation: Stent-induced Neutrophil Activation is Associated with an Oxidative Burst in the Inflammatory Process, Leading to Neointimal Thickening. American Heart Association 2005.
- 9 Kato T, Inoue T, Morooka T, Hashimoto S, Hikichi Y, Yoshida K, Yoshimoto N, Node K.: Short-term Passive Smoking Causes Endothelial Dysfunction Via Oxidative Stress In Nonsmokers. American Heart Association 2005.
- 10 加藤 徹, 橋本重正, 挽地 裕, 井上晃男, 野出孝一, 神山哲男, 丸山義明, 吉本信雄: 経口ニコランジル前投薬は心筋虚血プレコンディショニング作用を有する。第19回冠疾患学会学術集会。2005年12月9日-10日。日本冠疾患学会雑誌2005, 11(4):277。

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
助教授	加藤 徹	臨床研究談話会研究助成金		食後高脂血症が心血管機能に及ぼす影響についての研究	500
助教授	加藤 徹	財団法人 動脈硬化研究奨励会研究助成金		食後高血糖・食後高脂血症が冠動脈ステント再狭窄に与える影響についての研究	2,000
助教授	加藤 徹	佐賀大学 地域創生プログラム助成金		生活習慣病予防と管理	500
講師	明石 真	日本心臓財団・ファイザー「高血圧・高脂血症と血管代謝」研究助成		体内時計の異常による循環器疾患誘発の分子メカニズムの解析とその予防医学的応用	400
講師	明石 真	日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成		時計遺伝子変異マウスにおける動脈硬化進展の分子メカニズム	1,000
講師	明石 真	上原記念生命科学財団	平成17年度研究奨励金	核内受容体によるサーカディアンリズム制御の分子機構研究	2,000
講師相当	明石 真	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	核内受容体による体内時計遺伝子の概日発現制御の研究	1,500